

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 7 年 4 月 17 日(2025.4.17)

【公開番号】特開 2024-169800(P2024-169800A)

【公開日】令和 6 年 12 月 6 日(2024.12.6)

【年通号数】公開公報(特許)2024-229

【出願番号】特願 2023-86109(P2023-86109)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 4 月 9 日(2025.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本体枠と、該本体枠に装着される遊技盤とを備えた遊技機であって、
前記遊技盤に設けられ、所定の表示を行うことが可能な表示手段と、
少なくとも前記表示手段を用いて所定の演出を実行する演出実行手段と、
前記遊技盤に設けられ、遊技球が入球することで予め定められた利益を付与することが
可能な特定入賞口と、

前記遊技盤に設けられ、遊技球が入球することで予め定められた利益を付与することが
可能な特別入賞口と、

所定の開始条件の成立に基づいて所定図柄の変動を実行可能な所定図柄変動実行手段と、
を備え、

30

前記演出実行手段は、前記表示手段に当該遊技機の一部を模倣した特殊画像を表示する
特殊演出を実行可能であり、

前記特殊演出は、前記所定図柄の変動が実行されていない期間で実行される演出であり、

前記特定入賞口への遊技球入球が検出された場合には、特定入賞音を出力可能であり、

前記特別入賞口への遊技球入球が検出された場合には、前記特定入賞音とは異なる入賞
音である特別入賞音を出力可能であり、

前記特殊演出の実行期間中に前記特定入賞口への遊技球入球が検出された場合には、前
記特定入賞音が出力されない一方で、前記特殊演出の実行期間中に前記特別入賞口への遊
技球入球が検出された場合には、前記特別入賞音を出力可能であり、

40

前記所定図柄の変動が実行されていない期間で実行される演出であって前記特殊演出と
は異なる演出である特定演出の実行期間中に前記特定入賞口への遊技球入球が検出された
場合には、前記特定入賞音を出力可能である一方で、前記特定演出の実行期間中に前記特
別入賞口への遊技球入球が検出された場合には、前記特別入賞音が出力されないように構
成されており、

さらに、前記遊技盤に設けられ、遊技球が入球することで予め定められた利益を付与す
ることが可能な特殊入賞口を備え、

前記特殊入賞口は、前記特殊演出の実行期間中に遊技球入球が検出された場合、及び前
記特定演出の実行期間中に遊技球入球が検出された場合のいずれにおいても、該特殊入賞
口への入球検出に基づく入賞音が出力されないように構成されており、

50

さらに、特定態様で動作可能とされる特定可動体を備え、
前記特定可動体は、前記特殊演出の実行期間中は前記特定態様での動作が実行され得る
一方で、前記特定演出の実行期間中は前記特定態様での動作が実行され得ない
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

10

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、
本体枠と、該本体枠に装着される遊技盤とを備えた遊技機であって、
前記遊技盤に設けられ、所定の表示を行うことが可能な表示手段と、
少なくとも前記表示手段を用いて所定の演出を実行する演出実行手段と、
前記遊技盤に設けられ、遊技球が入球することで予め定められた利益を付与することが
可能な特定入賞口と、
前記遊技盤に設けられ、遊技球が入球することで予め定められた利益を付与することが
可能な特別入賞口と、
所定の開始条件の成立に基づいて所定図柄の変動を実行可能な所定図柄変動実行手段と、
を備え、

20

前記演出実行手段は、前記表示手段に当該遊技機の一部を模倣した特殊画像を表示する
特殊演出を実行可能であり、
前記特殊演出は、前記所定図柄の変動が実行されていない期間で実行される演出であり、
前記特定入賞口への遊技球入球が検出された場合には、特定入賞音を出力可能であり、
前記特別入賞口への遊技球入球が検出された場合には、前記特定入賞音とは異なる入賞
音である特別入賞音を出力可能であり、
前記特殊演出の実行期間中に前記特定入賞口への遊技球入球が検出された場合には、前
記特定入賞音が出力されない一方で、前記特殊演出の実行期間中に前記特別入賞口への遊
技球入球が検出された場合には、前記特別入賞音を出力可能であり、
前記所定図柄の変動が実行されていない期間で実行される演出であって前記特殊演出と
は異なる演出である特定演出の実行期間中に前記特定入賞口への遊技球入球が検出された
場合には、前記特定入賞音を出力可能である一方で、前記特定演出の実行期間中に前記特
別入賞口への遊技球入球が検出された場合には、前記特別入賞音が出力されないように構
成されており、

30

さらに、前記遊技盤に設けられ、遊技球が入球することで予め定められた利益を付与す
ることが可能な特殊入賞口を備え、
前記特殊入賞口は、前記特殊演出の実行期間中に遊技球入球が検出された場合、及び前
記特定演出の実行期間中に遊技球入球が検出された場合のいずれにおいても、該特殊入賞
口への入球検出に基づく入賞音が出力されないように構成されており、

さらに、特定態様で動作可能とされる特定可動体を備え、
前記特定可動体は、前記特殊演出の実行期間中は前記特定態様での動作が実行され得る
一方で、前記特定演出の実行期間中は前記特定態様での動作が実行され得ない
ことを特徴とする。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

50